

大学のディプロマ・ポリシー	理学療法学科のディプロマ・ポリシー
<p><b>1) 保健医療分野の専門性</b> 保健医療の専門職として必要な専門知識と技術を身に付け、対象者の支援のために適切に活用することができる。</p> <p><b>2) 共生社会の理解</b> 共生社会の概念を理解し、障がい者や高齢者など多様な生活者が共生できる社会の実現に意識を置きながら、保健医療の専門職として行動することができる。</p> <p><b>3) 課題解決力</b> 保健医療の専門職が直面する様々な課題について、その背景やニーズを把握し、対象者の立場を理解し、課題解決に向け適切に行動することができる。</p> <p><b>4) 応用力</b> QOLの維持・向上や健康寿命の延伸に向け、保健医療の専門分野のみならず、関連する他分野の知識を応用し、視野を広げて業務に取り組むことができる。</p> <p><b>5) 組織における経営・マネジメント力</b> 経営・マネジメントの素養を身に付け、保健医療に関する諸課題の改善に取り組むことができる。</p>	<p>D 1) 保健医療分野の専門性 理学療法に関わる専門的な知識や技術を修得し、様々な疾患や障害により理学療法を必要とする対象者に対し、適切で専門的な理学療法を行い、社会適応するための支援ができる。</p> <p>D 2) 共生社会の理解 理学療法の専門職としての役割に加え、共生社会の理念を実践する理学療法士としての自覚を持ち、組織や地域社会に貢献することができる。</p> <p>D 3) 課題解決力 身体運動に関する医療専門職である理学療法士として、対象者の立場や背景、ニーズ等を把握した上で、適切に病態や障害を評価し、運動機能の回復・維持等に対する課題解決に取り組むことができる。</p> <p>D 4) 応用力 理学療法の専門性である身体運動分野等に隣接する他分野へ視野を広げ、対象者のQOL維持・向上や健康寿命の延伸に向けた理学療法の応用・展開に取り組むことができる。</p> <p>D 5) 組織における経営・マネジメント力 保健医療経営や理学療法に取り組む組織・人材マネジメント等に関する基礎知識を身に付け、保健医療経営やマネジメント等の課題に幅広く対応できる。</p>

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
敬心における共生論	RP1-A101L1	●	基礎科目	1	必修	講義	①共生社会の概念を理解し、説明できる。 ②敬心学園の理念を理解し、説明できる。 ③共生社会の実務リーダーとしてのあるべき姿を理解し、説明できる。		●			
心理学	RP1-A102L1	●	基礎科目	2	必修	講義	・心理学全体の概要を理解し、心理学の歴史における3つのパラダイム（精神分析・行動主義・ヒューマニスティック心理学）について説明できる。 ・心理学の各テーマについての概要を理解し、その中に出てきたキーワードや代表的な心理学実験について説明できる。 ・医療専門職の国家試験に頻出するテーマの重要事項について覚え、具体的に述べることができる。		●	●		
社会学	RP1-A103L1		基礎科目	2	必修	講義	① 基本的な社会学的センスを身につけ、社会人としてのより深い視点を広げ深める。 ② 社会諸問題の解決へ向けた手がかりを見つけ、その実践的展望を図ることができる。 ③ 社会諸現象の解明へ向けた手がかりを見つけ、その具体的視野の深化を図ることができる。 ④ 授業の中でとりあげる社会問題と社会現象への、リハビリテーション専門職としての具体的かかわりを見出せる。			●		●
実務英会話	RP1-A104P1		基礎科目	1	必修	実験・実習	① 英語の保健医療福祉の専門用語を覚え、活用できる ② 介護の場面で使われる英単語や関連表現・フレーズを活用できる ③ コミュニケーションツールとして英語を捉え、恥ずかしがらずに活用できる姿勢を身につける			●		
観光学	RP1-A205L2		基礎科目	2	選択	講義	①観光の定義と今なぜ観光・ツーリズムなのか自分の言葉で語ることができる ②観光と福祉の親和性について説明できる ③観光を地域活性化につなげる視点を持つことができる ④観光マーケティングの意味と必要性を説明できる				●	●
経営学	RP1-A106L2		基礎科目	1	選択	講義	① 企業における経営者の役割について理解し、説明できる ② 経営に関する基礎的な理論を理解し、説明できる ③ 身近な企業に関し、経営上の特徴について、自らの言葉で説明できる			●		●
音楽文化論	RP1-A107L2		基礎科目	2	選択	講義	①音楽が社会の中で果たしてきた役割を説明できる。 ②音楽文化に関する基礎知識とリサーチ方法を身につけ、専門分野に応用できる。 ③自らの生活をより豊かなものとするために文化芸術に対して関心を持てるようになる。		●			

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
法学	RP1-A108L2		基礎科目	2	選択	講義	① 法が社会生活の中でどのような機能を有しているかを説明できる。 ② 憲法、民法、刑法の基本的知識を説明できる。 ③ 学習した基本的知識を日常生活で生じうる法律問題において適用できる。 ④ 医療・福祉部門で仕事をしていくうえで生じうる法律問題について説明できる。			●		
国際関係論	RP1-A109L2		基礎科目	1	選択	講義	①国際秩序形成に向けた歴史的な営みについて理解する。 ②環境問題、地域紛争など、地球的規模の問題群について理解し、自分の考えを持ち、行動できる。 ③国際的な政治経済関係の中で、日本を取り巻く状況、日本の置かれた立場などを理解し、自分の考えを持ち、行動できる。			●		●
リーダーシップ論	RP1-B101L2		基礎科目	1	選択	講義	① リーダーシップの二大機能について理解できている状態 ② 自分の身近な組織で、リーダーシップを発揮できている状態 ③ 自分自身のリーダーシップの傾向が理解できている状態			●		●
チームワーク概論	RP1-B102L1		基礎科目	1	必修	講義	1. チームワーク（多職種連携・多職種協業）の必要性・重要性を理解する。 2. チームの形成の過程を理解する。 3. 実際のチームの事例について知る。自身のチームに寄与する資質について理解する。			●		●
社会人基礎力	RP1-B103S2		基礎科目	1	選択	演習	①多種多様の人々と協働する上で大切な傾聴力を高め、相手にわかりやすく伝えられる ②自ら考え問題点を抽出し、計画、行動化することで自発的の重要性を理解する ③将来の実務リーダーの役割を担う人材として、リーダーシップの本質を理解する ④セルフマネジメントを定着させることで、円滑なコミュニケーションができるようになる			●	●	●
コミュニケーション論	RP1-B104L2		基礎科目	2	選択	講義	①リーダーシップの基本となるヒューマンスキルについて理解できる状態。 ②コミュニケーションとは何かを理解でき、実際に自分の身近な場所で実践できる状態。 ③自分自身のコミュニケーションと特徴は何かを理解できる状態。				●	●
スポーツボランティアⅠ	RP1-C101L2		基礎科目	2	選択	講義	①ボランティアについて概要を理解する。 ②ボランティア活動の社会的役割を理解する。 ③スポーツボランティアの概要を理解する。 ④自身におけるボランティア活動の位置づけを考える。		●			●
スポーツボランティアⅡ	RP1-C202P2		基礎科目	1	選択	実験・実習	①ボランティア活動前の準備および体験を通じた学びから、社会性とコミュニケーション能力を養う。 ②スポーツ分野におけるボランティア活動の目的・意義・役割を理解できる。 ③ボランティア活動を通じて、様々な立場・価値感・生き方があることを知り、共生社会について理解を深める。		●			●
地域ボランティア論	RP1-C103L2		基礎科目	2	選択	講義	① ボランティア理念について理解し、説明することができる。 ② 地域ボランティア、災害ボランティア、国際ボランティアについて説明することができる。 ③ 新しい公共という概念を理解し、ボランティア活動への関心を高める。 ④ 自分なりの視点で現在のボランティアの問題・課題について論じることができる。		●			●
地域防災	RP1-C104L2		基礎科目	2	選択	講義	① 災害時のリハビリテーション専門職としての役割と機能について具体的に説明できる。 ② 復興支援の課題について具体的に指摘し説明できる。 ③ 防災の先進自治体事例を通してメリット・デメリットを指摘しトータルな解決策を提案できる。 ④ ①②③を踏まえて、“地域防災”の視点、“防災福祉”の考え方、について具体的な提案ができる。		●		●	●
統計学序論	RP1-D101L2		基礎科目	2	選択	講義	1) データを整理するために必要な数学の知識を理解できる。 2) データを分析するために必要な数学の知識を理解できる。 3) 統計を自学自習するのに必要な数学が理解できる。			●		●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
統計学	RP1-D102L1		基礎科目	2	必修	講義	1) データ解析の基礎を学び、データの管理が行える。 2) 得られたデータの要約を行うことができる。 3) データから母集団の推定・検定を行うことができる。 4) 理学療法を行う上で、統計学がどのように用いられているのか理解できる。			●		●
情報リテラシー	RP1-D103L2		基礎科目	1	選択	講義	①コンピュータとインターネットの基本的な仕組みを理解し、自分の言葉で説明できる。 ②情報システムの基本的な構成と利用法、各種用語を正しく理解し説明できる。 ③情報システムの特性と背後にある仕組みの関係が説明できる。					
ICT概論	RP1-D204L2		基礎科目	1	選択	講義	①クラウドサービス、IoT、AIの身近な応用事例とその特徴、仕組みを説明できる ②保健医療福祉分野の現場におけるICTの活用見込みについて説明できる			●		●
健康科学	RP1-D105L2		基礎科目	2	選択	講義	①エネルギー代謝を理解して、身体に対する運動の影響を理解する ②嗜好品も含めた、身体に対する嗜好品の影響を理解する ③身体に対する睡眠の影響を理解する ④生活習慣病に対しての、運動プログラムを立案できるようにする	●			●	
食と健康	RP1-D106P2		基礎科目	1	選択	実験・実習	①食を通して、健康を維持・増進することを理解できる。 ②栄養のバランスを考えて料理を選択し、食品をバランスよく整えて献立を作成し、適切な食生活を実践することができる。 ③栄養・調理の知識を理解し、技術を身につけることができる。 ④グループで実技を行うことで、チームの一員として取り組む姿勢を養うことができる。				●	
生物学	RP1-D107L1		基礎科目	2	必修	講義	① 個々の生物のあらゆる構造や性質について、その特性や機構を分子レベルで説明できる。 ② 生命の起源、生物の多様化、ヒトの起源と進化、そして進化のしくみを説明できる。 ③ 生物の集団、生態系のエネルギーの流れを理解し、生物と環境とのかかわりを説明できる。 ④ 人間活動による環境への影響を説明できる。	●				
解剖学 I	RP2-E101L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 骨を形状により分類し、骨の連結の種類について述べ、関節について説明することが出来る。 ② 骨の名称を列挙し、各々の骨に付着する筋の起始・停止部位を説明できる。 ③ 人体各部に分布する筋をグループごとに列挙し、それらの筋の作用・神経支配を説明できる。 ④ 軟骨組織、骨組織、筋組織の構造を説明できる。 ⑤ 血管系、リンパ管系およびリンパ様（性）器官（リンパ節、脾臓、胸腺）の構造を説明できる。	●		●		
解剖学 II	RP2-E102L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 神経組織の構成要素について述べ、それらについて説明できる。 ② 中枢神経系（脳、脊髄）を構成する部位を列挙し、それらの構造を説明できる。 ③ 末梢神経系（脳脊髄神経系、自律神経系）の構造を説明できる。 ④ 眼球とその付属器、平衡聴覚器および皮膚の構造を説明できる。 ⑤ 内臓を構成する器官を系統ごとに列挙し、それら器官の肉眼および光学顕微鏡レベルの構造を説明できる。	●		●		
解剖学実習	RP2-E103P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	① 人体を構成する骨の名称を列挙し、各々の骨に付着する筋の起始、停止部位を説明できる。 ② 人体各部に分布する筋をグループごとに列挙し、それらの筋の作用・神経支配を説明できる。 ③ 内臓を構成する器官を系統ごとに列挙し、それら器官の光学顕微鏡レベルの構造を説明できる。 ④ 中枢神経系の各部位における横断面の構造を説明し、上行性および下行性伝導路を説明できる。	●		●		
生理学 I	RP2-E104L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 個体として生存するための個々臓器が果たす役割を理解し説明できる。 ② 細胞膜、イオンチャネル、担体、膜電位、シナプス、筋収縮等が分子レベルで説明できる。 ③ 心臓を含む循環器、呼吸器、消化器、泌尿器のそれぞれの機能と個体維持における役割を説明できる。 ④ 代謝の概念と運動負荷の定義が説明できる。	●		●		
生理学 II	RP2-E105L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 神経系を構成する部分（感覚器、末梢神経系、中枢神経系）を列挙することができる。 ② 感覚器の違いとそれぞれがどのように活動電位を発生するかを説明できる。 ③ 中枢神経系内の神経結合が情報処理を行う機構を説明できる。 ④ 血液・免疫細胞の種類を列挙し、それぞれの役割を説明できる。	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
生理学実習	RP2-E106P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	(1) 実習書を読み理解し、(2) データを採取し、(3) 結果を表・グラフ等にまとめ、(4) 先行研究・教科書の記載を読み理解し、(5) 実験結果を説明(考察)できるようになる。年度末には、目的(背景)に始まって考察、引用文献一覧までの、科学的な形式を踏んだレポートが書けるようになる。	●		●		
運動学 I	RP2-E107L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	①身体運動に必要な力学の基礎を理解する ②各関節の構造、運動、運動に関与する筋の作用について理解する ③姿勢と姿勢制御、歩行運動、運動とエネルギーの関係について理解する ④運動学習の基本概念を理解する	●		●		
運動学 II	RP2-E208L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	・身体運動を理解するために必要な運動力学について説明することができる ・各関節における筋骨格系の構造と機能について説明することができる ・身体運動(寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行動作)を運動学の視点から説明することができる	●		●		
運動学実習	RP2-E209P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	①動作分析を行う上で重要な生体力学を理解する。 ②上肢・下肢・体幹の運動器と動作を説明することができる。 ③日常生活動作上で重要な動作を相に区分し、説明することができる。 ④各種検査機器から得られるデータを分析し、考察を行うことができる。	●		●		
運動生理学	RP2-E210L1		職業専門科目	1	必修	講義	・運動が身体に及ぼす影響(筋、循環、呼吸、関節、体温、内分泌、栄養)を運動生理学の視点から説明することができる ・疾患に対する運動の意義を運動生理学の視点から説明することができる	●		●		
人間発達学	RP2-E111L1		職業専門科目	1	必修	講義	・各発達期の特徴を述べるができる。 ・運動発達、精神発達、精神発達との関連性をのべることができる。 ・人間を発達の視点からとらえ、生涯発達の視点で展望できる。 ・人間を発達の視点でとらえることで、その後に学ぶ臨床的知識の理解を助けることができる。	●		●		
臨床心理学	RP2-F101L1		職業専門科目	1	必修	講義	・臨床心理学では、患者のニーズを的確に把握し、患者から信頼される医療専門職になるために必要不可欠な対人援助理論、心理検査法、各種心理療法の理論と実際について説明できる。また、対人援助スキルについては模倣できるようになる。			●		
精神医学	RP2-F302L1		職業専門科目	2	必修	講義	①精神科的面接法の内容を説明し、それに従って面接を実施できる。 ②精神科症候学に基づき精神症状を測定でき、各種疾患を鑑別できる。 ③精神障害の特性を理解し配慮できる。 ④身体疾患を持つ方に対しメンタルヘルスケアの視点をもって接することができる。	●		●		
神経内科学	RP2-F203L1		職業専門科目	2	必修	講義	①神経疾患の理解の基礎となる神経系解剖と働きについて説明できる ②神経疾患の診断に必要な画像診断について、その働きと実際の画像診断について説明できる ③各種神経疾患について、病態、症状、診断法、治療法などについて説明できる ④神経疾患の診断、障害の評価などについての診療技術を習得できる	●		●		
内科学	RP2-F204L1		職業専門科目	2	必修	講義	内科疾患(循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、内分泌・代謝疾患、血液疾患、腎臓疾患、膠原病)について以下を目標にする。 ①疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。 ②代表的な疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 ③代表的な疾患の治療と予後について概説できる。	●		●		
救急救命の基礎	RP2-F205P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	災害や事故の発生に伴う局所反応および呼吸・循環・代謝・その他の機能の評価・判定を理解して、迅速な処置を行い、救急搬送に至る流れを理解し、実行できる能力を獲得することを目標とする。	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
薬理学	RP2-F306L1		職業専門科目	1	必修	講義	1) 薬物の使用を規制する法令について説明できる。 2) 薬物受容体と用量反応関係を説明できる。 3) 薬物効果に影響を及ぼす要因を説明できる。 4) 薬物の体内動態を説明できる。 5) 薬物の剤形および投与方法を説明できる。 6) 臨床で使用される代表的な薬物の薬理作用、副作用、臨床応用、	●		●		
リハビリテーション医学	RP2-G101L1		職業専門科目	1	必修	講義	1. リハビリテーション医学の概要を理解する。 2. リハビリテーション医学に基づく診察・評価の基礎を学習する。 3. 主な障害の病態生理について理解する。 4. 主な障害の治療について理解する。 5. 主要な疾患に対するリハビリテーション医学的知識を学習する。	●				
リハビリテーション概論	RP2-G102L1		職業専門科目	1	必修	講義	リハビリテーション理念・定義・障害の捉え方を理解し、作業療法に生かせるリハビリテーションの基礎的知識を身に付ける。	●	●	●	●	●
公衆衛生学	RP2-G303L1		職業専門科目	1	必修	講義	1) 用語の定義を正確に述べることができる。 2) 発生原因を列挙できる。 3) 機序や病態を説明できる。 4) 管理の実際について具体的に説明できる。 5) 予防法を具体的に述べることができる。 6) 関連する法規を列挙し、その内容を説明できる。	●		●		
地域福祉論	RP2-G104L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 「地域」「コミュニティ」とは何かについて、説明することができる。 ② 地域福祉の歴史展開と現代との関係性について、説明することができる。 ③ 自分なりの視点で現在の地域福祉の課題について論じることができる。 ④ ワークショップを通じてNPO法人への理解を深め、設立方法について説明することができる。	●	●	●	●	
地域共生のための連携活動 I	RP2-G305L1		職業専門科目	2	必修	講義	一般目標 (GIO) 地域共生、関連専門職の連携を理解し、理学療法士として何をすべきか説明ができる 行動目標 (SBO) ①地域包括ケアシステムの概要を理解し、説明できる ②地域における関連する各専門職の役割を説明できる ③当事者である本人とその家族を中心とした連携・協働について概要を理解し、説明できる ④リハビリテーション専門職に求められる知識・技能を説明できる	●	●	●	●	●
地域共生のための連携活動 II	RP2-G406S1		職業専門科目	1	必修	演習	① 地域住民や地域で実践を行うさまざまな人々と連携協働するための基礎力を養成する。 ② 地域での保健医療に関する現状やニーズの把握、課題抽出ができるようになる。 ③ 地域における保健医療分野に対して自らの専門性を活かした包括的支援体制について考察できる。	●	●	●	●	●
予防理学療法	RP2-G307L2		職業専門科目	2	選択	講義	・ 予防理学療法に関連する制度について説明できる。 ・ 予防理学療法の領域を説明できる。 ・ 各領域における予防理学療法の役割・活動内容を説明できる。	●	●	●		
リハビリテーション医療工学	RP2-G308S2		職業専門科目	1	選択	演習	①リハビリテーション医療工学について説明することができる。 ②各計測について説明することができ、各計測を実施することができる。 ③各工学的アプローチを理解し、リハビリテーションの視点から期待できる効果を説明することができ、それぞれの工学的アプローチを実施することができる。	●		●	●	
基礎理学療法概論	RP2-H101L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	①専門職としての理学療法士になるための自分自身の課題を明確にし、その克服のために必要な取り組み方法や、具体的に必要な知識や技術などについて説明できる。 ②理学療法業務内容および理学療法士の役割について説明できる。 ③理学療法の対象となる疾患、障害との関連性について理解し、必要な理学療法手段について説明できる。 ④治療医学、リハビリテーション医学と理学療法の位置づけと、その概要について説明できる。	●	●	●	●	

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
理学療法研究法	RP2-H302S1		職業専門科目	1	必修	演習	①理学療法における疑問点の解決方法を説明できる ②研究の立案と実行およびプレゼンテーションが実施できる ③論文の構成を理解し、要点をまとめることができる	●		●	●	●
運動療法学総論	RP2-H103L1	●	職業専門科目	1	必修	講義	① リハビリテーションと理学療法を理解し、理学療法の治療としての運動療法を説明できる。 ② 運動療法の種類を学び、各種の内容と目的、効果を説明できる。 ③ 運動療法の適応と禁忌を学び、身体機能や障害に応じて適用することができる。 ④ 運動療法の効果を予測し、日常生活の自立度と関連付けることができる。	●	●	●	●	
理学療法管理学Ⅰ	RP2-I201L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 関連法規、制度と理学療法士の業務を関連づけることができる。 ② 理学療法部門の管理運営方法を説明できる。 ③ 医療制度・介護制度と理学療法業務を関連づけることができる。 ④ 診療記録の目的と適切な記録方法を説明できる。	●		●		●
理学療法管理学Ⅱ	RP2-I302L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 組織や地域における理学療法士の役目について述べられる ② 多職種連携に必要なコミュニケーションを理解し実践できる ③ 理学療法士に必要な管理とマネジメントについて述べられる ④ 社会に求められる理学療法士像を述べられる。	●		●		●
基礎理学療法評価学	RP2-J101L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	①理学療法評価の目的と臨床意思決定プロセス（統合と解釈）について説明できる。 ②情報収集をもとに評価項目を選定することができる。 ③ICFにおける障害に対応して、障害の意味を説明できる。 ④記録と報告の方法と注意事項について説明できる。 ⑤理学療法評価の基礎的な項目について、それぞれの目的、内容、方法について説明できる。	●		●		
基礎理学療法評価学実習	RP2-J102P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	① 医療面接および情報収集を理解して実施できる。 ② バイタルサイン、形態計測、反射について理解して実施できる。 ③ 体性感覚検査について理解して実施できる。 ④ 関節可動域測定および筋力検査を理解して実施できる。 ⑤ 協調運動機能検査、バランス検査、運動耐用能について理解して実施できる。	●		●		
運動器理学療法評価学	RP2-J203L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	①骨・関節機能の評価について説明できる。 ②骨格筋機能の評価について説明できる。 ③整形外科系の特殊検査について説明できる。 ④姿勢、動作の分析から派生する運動器系の問題について説明できる。	●		●		
運動器理学療法評価学実習	RP2-J204P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	①運動器理学療法評価で用いる一般的な理学療法検査・測定を実施できるようになる。 ②検査結果の解釈ができるようになる。 ③理学療法目標、プログラムを設定できるようになる。	●		●		
神経理学療法評価学	RP2-J205L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	① 神経学的諸検査の意義が説明できる ② 神経学的検査が実施できる ③ 脳の構造と役割が説明できる	●		●		
神経理学療法評価学実習	RP2-J206P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	①意識レベルの診かたについて、評価方法ごとに説明、実施できる。 ②神経疾患に対する筋緊張の評価を説明、実施できる。 ③反射の検査（深部腱反射、病的反射）について説明、実施できる。 ④感覚検査（表在感覚、深部感覚）について説明、実施できる。 ⑤中枢神経疾患に対する片麻痺検査について、説明、実施できる。 ⑥協調性の検査について説明、実施できる。 ⑦脳神経検査について説明、実施できる。 ⑧高次脳機能障害に関する検査方法について説明、実施できる。 ⑨神経疾患患者における基本動作や歩行の動作分析ができる。	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
内部障害理学療法評価学	RP2-J307L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	<p>チーム医療に対応するべく、内部障害理学療法評価の臨床的位置づけと評価方法について理解し習得すること</p> <p>① 糖尿病および肥満症の病態を理解、把握した上で理学療法評価法を選択できる</p> <p>② 糖尿病の合併症を理解し、安全に理学療法評価を実施するための注意点を理解できる</p> <p>③ 急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の病態を理解、把握した上で理学療法評価法を選択できる</p> <p>④ 急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の病期に応じた理学療法評価法を選択できる</p> <p>⑤ 急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の合併症を理解し、安全に理学療法評価法を実施するための注意点を理解できる</p> <p>⑥ 虚血性心疾患および慢性心不全の病態を理解、把握した上で理学療法評価法を選択できる</p> <p>⑦ 虚血性心疾患および慢性心不全の病期に応じた理学療法評価法を選択できる</p> <p>⑧ 虚血性心疾患および慢性心不全の合併症を理解し、安全に理学療法評価法を実施するための注意点を理解できる</p>	●		●		
内部障害理学療法評価学実習	RP2-J308P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	<p>到達目標は、チーム医療において内科系障害理学療法の臨床的位置づけと介入方法の判断することを考えることが出来、対象患者へのリスク層別と運動処方と臨機応変に理学療法計画へ組み込めること</p> <p>① フィジカルサインを正確にとらえて、正しく計測することができる</p> <p>② 運動中のフィジカルサインを正確に計測することができる</p> <p>③ 運動負荷方法により、フィジカルサインの反応が異なることを理解できる</p> <p>④ 運動負荷強度と酸素摂取量、心拍数の関連性を理解できる</p> <p>⑤ 無酸素性代謝閾値について理解できる</p> <p>⑥ 肺機能検査及び経皮的酸素飽和度を理解し、正しく計測することができる</p> <p>⑦ 心電図の計測方法と波形を理解する</p> <p>⑧ 内部障害における画像評価を理解する</p>	●		●		
物理療法学	RP2-K301L1		職業専門科目	2	必修	講義	<p>物理療法の概要と生理学的作用、実施方法と実施上注意すべき事項、適応と禁忌、治療効果について理解し、説明できる。また、これらを適用するにあたり、リスクの管理と安全性を考慮した技能を身につける。</p>	●		●		
物理療法学実習	RP2-K302P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	<p>①機器の操作方法を正しく理解し、物理エネルギーの特性、生体組織の反応を十分に把握する。</p> <p>②温熱刺激、機械的刺激の効果を理解し、各種物理療法の目的、手順、リスク管理について理解し遂行できる。</p> <p>③物理療法の生体への影響、特徴、適応と禁忌を学習し、適応となる疾患について推測、考察できる。</p>	●		●		
義肢装具学	RP2-K303L1		職業専門科目	2	必修	講義	<p>①切断のリハビリテーションを把握する。</p> <p>②股義足、大腿義足、下腿義足、サイム義足の構造と機能を理解し説明できる。</p> <p>③義足歩行を分析し、異常が観察される際に適切な対応が取れる。</p> <p>④短下肢装具、長下肢装具、上肢装具、体幹装具の種類と機能、適応となる疾患や症状を説明できる。</p> <p>⑤義肢および装具のチェックアウトが実施できる。</p>	●		●		
義肢装具学実習	RP2-K304P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	<p>①義足の適合および義足歩行について理解し、異常歩行の原因の究明と対処法を提案できる。</p> <p>②各種装具の疾患別適応および適合と評価について理解し、適合判定と効果判定を行うことができる。</p>	●		●		
日常生活活動学	RP2-K205L1		職業専門科目	2	必修	講義	<p>①日常生活活動の定義や概念を理解する。</p> <p>②代表的な評価方法を理解し、説明できるようになる。</p> <p>③代表的な自助具や福祉用具について理解し、選択・適合ができるようになる。</p> <p>④各疾患の日常生活動作の特徴を理解する。</p> <p>⑤各疾患の病態や障害を理解し、適切な指導方法を立案できるようになる。</p>	●		●	●	

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
日常生活活動学実習	RP2-K206P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	①ADL動作を評価できる ②正常な基本動作，歩行動作の運動学的分析ができる ③代表的な疾患のADLを評価でき，動作の模倣・指導ができる ④各種疾患に対し使用する福祉機器の用途と特徴について，理解し，処方することができる	●		●	●	
運動器理学療法学	RP2-K207L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	①運動器に関わる疾患と機能障害・形態障害および活動制限について説明できる。 ②各運動器疾患に対する理学療法について説明できる。	●		●		
運動器理学療法学実習	RP2-K208P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	一般目標（GIO）： 各疾患でのリスク管理を考慮した上で必要な知識・治療技術を身につける。 行動目標（SBO）： ①各疾患の病態・特徴を時期に合わせて説明できる ②評価、治療プログラムの作成と一連の流れを理解し、リスク管理を理解した上で、治療ができる	●		●		
神経理学療法学	RP2-K209L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	① 脳画像から基本的領域名と役割を述べるができる。 ② 患者の問題点に対する適切な検査を選択し、基本的な検査を実施できる。 ③ 実施する理学療法治療を根拠に基づいて説明できる。	●		●		
神経理学療法学実習	RP2-K210P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	① 脳の構造および機能を説明できる。 ② 脳血管疾患によって生じうる障害について説明できる。 ③ 脳血管疾患患者に対して実施する検査、測定および理学療法の基本的な手技が実施できる。 ④ 神経筋疾患患者に対して実施する検査、測定および理学療法の基本的な手技が実施できる。	●		●		
内部障害理学療法学	RP2-K311L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	チーム医療に対応するべく、内部障害にかかわる内科系疾患による障害を有する対象者への理学療法の臨床的位置づけと介入方法や生活習慣病に対する健康増進について理解し習得すること ①糖尿病および肥満症の病態を理解、把握した上で理学療法を選択できる ②糖尿病の合併症を理解し、安全に理学療法を実施するための注意点を理解できる ③急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の病態を理解、把握した上で理学療法を選択できる ④急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の病期に応じた理学療法を選択できる ⑤急性および慢性閉塞性呼吸器疾患の合併症を理解し、安全に理学療法を実施するための注意点を理解できる ⑥虚血性心疾患および慢性心不全の病態を理解、把握した上で理学療法を選択できる ⑦虚血性心疾患および慢性心不全の病期に応じた理学療法を選択できる ⑧虚血性心疾患および慢性心不全の合併症を理解し、安全に理学療法を実施するための注意点を理解できる	●		●		
内部障害理学療法学実習	RP2-K312P1		職業専門科目	1	必修	実験・実習	到達目標は、チーム医療において内科系障害理学療法の臨床的位置づけと介入方法の判断することを考えることが出来、対象患者へのリスク層別と運動処方を経機応変に理学療法計画へ組み込めること ①フィジカルサインを正確にとらえて、正しく計測することができる ②運動中のフィジカルサインを正確に計測することができる ③運動負荷方法により、フィジカルサインの反応が異なることを理解できる ④運動負荷強度と酸素摂取量、心拍数の関連性を理解できる ⑤無酸素性代謝閾値について理解できる ⑥肺機能検査及び経皮的酸素飽和度を理解し、正しく計測することができる ⑦呼吸理学療法の標準的手技と喀痰吸引を理解し、模倣することができる ⑧AEDを用いた一次救命法を理解し、実施することができる	●		●		
小児理学療法学	RP2-K313L1		職業専門科目	2	必修	講義	・姿勢運動発達の正常性・異常性について理解・説明が出来る。 ・脳性麻痺児の臨床像、評価、治療・介入原則について理解・説明が出来る。 ・整形外科疾患児、呼吸器疾患児などの臨床像、評価、治療・介入原則について理解・説明が出来る。 ・小児理学療法が必要となる多様な疾患について、理解・説明が出来る。	●		●		



授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
高齢者理学療法学	RP2-K314L1	●	職業専門科目	2	必修	講義	①高齢者の多種多様な経験を敬い理解して、医療技術者として接することができる。 ②加齢に伴う身体機能・精神機能の変化について説明することができる。 ③高齢者を取り巻く地域医療・在宅医療の仕組みについて説明できる。 ④高齢者のQOL・ADLを高める理学療法を説明できる。	●	●	●	●	
スポーツ理学療法学実習	RP2-K315P1		職業専門科目	2	必修	実験・実習	①各スポーツに特有な外傷・障害を理解し、障害に対する問題点を抽出することができる ②競技特性に応じたリハビリテーション計画を立案し、プログラムメニューを模倣することができる ③スポーツ傷害における応急処置からアスレチックリハビリテーションを進めることができる ④各スポーツにおける外傷・障害の予防プログラムを作成することができる	●		●	●	
健康寿命の延伸	RP2-K316S1		職業専門科目	1	必修	演習	①健康および健康寿命の概念について多角的に説明することができる ②健康寿命の延伸のための課題について多角的に説明できる ③健康寿命の延伸のために理学療法士ができることを説明し、企画・実践することができる	●	●	●	●	●
在宅医療・介護の推進	RP2-K317S1		職業専門科目	1	必修	演習	①在宅医療や介護についての現状と課題について説明することができる ②地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割について説明することができる ③在宅医療や介護予防・介護支援について理学療法士の役割について説明することができる	●	●	●	●	●
アスレチックリハビリテーション	RP2-K318S2		職業専門科目	1	選択	演習	①アスレチックリハビリテーションの概要について説明できる ②競技特性に合わせたスポーツ外傷、スポーツ障害予防のための方策を説明できる ③競技種目や選手特性に合わせたアスレチックリハビリテーションプログラムを立案できる ④アスレチックリハビリテーションプログラムの基本的実技を実践できる	●		●	●	
生活環境学	RP2-L301L1		職業専門科目	1	必修	講義	①地域社会における日常生活活動と社会環境を理解し、その相互性を説明できる。 ②地域社会を支える行政や各種法制度を学び、生活実態と関連付けることができる。 ③在宅における医療・保健・福祉を理解し、利用者情報に適したサービスを選択することができる。 ④種々のサービス内容と理学療法を関連付け、適用することができる。	●	●	●	●	●
地域連携学	RP2-L302L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 地域リハビリテーションを理解し地域理学療法を説明できる。 ② 地域連携に関連する職種を列挙し、それぞれの職種の役割を述べることができる。 ③ チームリハに必要な職種間の利用者情報を関連付けることができる。 ④ 利用者情報に適したサービスを選択し、結果を予測し説明できる。		●	●	●	●
地域理学療法学	RP2-L303L1		職業専門科目	1	必修	講義	① 保健医療の観点から地域リハビリテーションにおける理学療法士の役割を説明できる。 ② 医療保険や介護保険の仕組みや在宅医療・介護の推進について説明できる。 ③ 地域リハビリテーションにおける他職種の理解と多職種連携の必要性を説明できる。 ④ 高齢者や障がい者の生活支援方法を提案できる。	●	●	●	●	●
見学実習	RP2-M101P1		職業専門科目	1	必修	臨地実務実習	①一般的な理学療法対象者の概要を理解することができる ②理学療法士の業務や守秘義務等の責務について理解することができる ③実習施設における各職種の業務や責務について理解することができる ④理学療法を学ぶ学生としての基本的態度・資質を養うことができる ⑤理学療法の見学を踏まえて、理学療法への関心を深め、学修意欲を高めることができる ⑥簡単な理学療法の補助業務を経験することができる	●		●		
検査・測定実習	RP2-M202P1		職業専門科目	2	必修	臨地実務実習	①理学療法対象者へ適切な検査・測定項目を挙げ、検査・測定の目的・手順を説明できる ②臨床実習指導者の指示に従って、検査・測定を実践できる ③検査・測定結果を理解できるとともに、正確に記録し報告できる ④提示された禁忌・注意事項や個人情報等の守秘義務を厳守できる ⑤理学療法対象者への配慮ならびにリスク管理を行うことができる ⑥臨床実習指導者のもとで、理学療法対象者、関連スタッフと良好な関係を築くことができる ⑦理学療法士を志す観点で行動し、適宜、臨床実習指導者へ報告・連絡・相談を行うことができる	●		●		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
評価実習	RP2-M403P1		職業専門 科目	8	必修	臨地実務実習	①評価実習を通じて理学療法及び理学療法士の役割を理解することができる。 ②理学療法対象者への配慮と個人情報等の守秘義務を厳守し、リスク管理を行うことができる。 ③理学療法対象者に対し適切な評価項目を挙げて実施することができる ④実施した理学療法評価から理学療法上の問題点を抽出することができる ⑤実施した理学療法評価より適切な理学療法目標を設定できる ⑥実習指導者の指導のもとで理学療法対象者に適応した理学療法プログラムを作成できる ⑦情報収集や理学療法評価に必要なコミュニケーションを形成し、記録と報告を行うことができる	●		●		
総合実習	RP2-M404P1		職業専門 科目	8	必修	臨地実務実習	①臨床実習施設における理学療法及び理学療法士の役割を理解し行動することができる ②理学療法対象者に対して適切な配慮と情報収集と個人情報等の守秘義務を厳守し、基本情報を基に疾患や障害の特徴、リスク管理を行うことができる ③臨床実習指導者の指導のもと理学療法対象者の理学療法評価計画・立案を作成することができる ④臨床実習指導者の指導のもと理学療法対象者の理学療法評価の結果を解釈し、国際生活機能分類（ICF）を用いて、対象者の全体像を把握し、解決すべき課題を抽出することができる ⑤臨床実習指導者の指導のもと理学療法対象者の理学療法目標を設定することができる ⑥理学療法対象者に対する理学療法評価および治療内容について適切に記録・報告することができる ⑦臨床実習施設における理学療法士としての管理・運営業務を理解することができる ⑧チーム医療の一員としての理学療法士の役割を体験し理解することができる ⑨総合実習にて体験し学修した内容を要約としてまとめ、学内セミナーにおいて発表し討論することができる	●	●	●	●	●
地域実習	RP2-M405P1		職業専門 科目	1	必修	臨地実務実習	①地域理学療法に関連する理学療法士の役割と個人情報保護等の責務について理解できること ②地域理学療法に関連する地域包括ケア等の各制度について理解できること ③健康維持・増進および介護予防事業について理解することができる ④生活期における在宅や施設において実施される理学療法の内容について理解できること ⑤地域理学療法における多職種連携の必要性を理解できること	●	●	●	●	●
共生社会の展開と実践	RP3-N301S1		展開科目	1	必修	演習	①理学療法士として共生福祉の理念を実践する意義を説明できる。 ②理学療法と「隣接他分野」の関連性について理解している。 ③「組織の経営・マネジメント」の知識・手法と「隣接他分野」で学修した知識を元に、理学療法士の役割を広げるアイデアやサービスを考えることができる。 ④多職種と協働するマインドを有している。		●		●	●
共生福祉論	RP3-0101L1	●	展開科目	2	必修	講義	1、“共生”の意味を明確化する。 2、“共生福祉”“共生社会”のあり方を具体的に説明できる。 3、各支援専門職にとっての“共生福祉”の意義と意味を説明できる。 4、地域社会における“共生福祉”の展開と可能性の輪郭を説明できる。		●		●	
身体障害への支援システム工学Ⅰ	RP3-0202L1	●	展開科目	2	必修	講義	①障害特性の定義と代行手段の選択に基づく支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ②保健医療分野の現場における仮説検証に基づいた実証実験手法を説明できる。		●		●	
身体障害への支援システム工学Ⅱ	RP3-0303S1	●	展開科目	1	必修	演習	①支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ②支援システムの試作品評価における実証実験手法と倫理審査の実施手順を説明できる。		●		●	
コーチングの理論とスポーツとの連携Ⅰ	RP3-0204L2		展開科目	2	選択	講義	コーチングスキルを習得し各種課題について現状分析、課題抽出、解決策立案ができる。 各種現場の現状や課題を理解することで自分自身の研究テーマの掘り下げを行うことができる。	●		●	●	●
コーチングの理論とスポーツとの連携Ⅱ	RP3-0305S2		展開科目	1	選択	演習	コーチング哲学を習得し、クライアントの成長を支えるコーチとしてのあり方を身につける 健康寿命の延伸を支える現場において、コーチとしての問題解決能力の習得と指導法を身につける クライアントの潜在能力を引き出し、解放させられるコーチとしての素養を醸成する	●		●	●	●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
障害者の社会参加とスポーツの教育的活用Ⅰ	RP3-0206L2		展開科目	2	選択	講義	①「障がい者の社会参加」について考えを深める。 ②障がい者スポーツについて理解を深める。 ③障がい者スポーツ及びその教育活動の普及について理解する。	●	●		●	
障害者の社会参加とスポーツの教育的活用Ⅱ	RP3-0307S2		展開科目	1	選択	演習	①地域における障がい者の社会参加と障がい者スポーツについて理解を深める。 ②障がい者スポーツ教育の実際について理解を深める。 ③障がい者スポーツ教育の実践力を身につける。	●	●		●	
ユニバーサルツーリズムと外出支援Ⅰ	RP3-0208L2		展開科目	2	選択	講義	①福祉の基礎知識を、「まち」に応用して考える視点を持つことができる。 ②高齢者や障がい者が「外出・旅行」する意義を説明できる。 ③高齢者や障がい者が主語になるのではなく、「誰もが同様に」という共生社会について説明できる。 ④共生社会の実現のために、何が必要かを自分の言葉で説明できる。		●		●	
ユニバーサルツーリズムと外出支援Ⅱ	RP3-0309S2		展開科目	1	選択	演習	①共生社会の実現のために、具体的にどのような課題があるかに気づくことができる ②様々なバリアの解消方法を提案することができる ③ユニバーサルツーリズムを地域活性につなげる視点を持つことができる ④グループでコミュニケーションをとりながらゴールに到達することができる ⑤グループでプレゼンシートを作成し、分担してプレゼンテーションを行うことができる		●		●	
手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅠ	RP3-0210L2		展開科目	2	選択	講義	・聴覚障害に関する基礎知識を学び、理解する。 ・あいさつや自己紹介程度の手話をできるようにする。		●		●	
手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅡ	RP3-0311P2		展開科目	1	選択	実験・実習	日常会話の手話ができることを目指し、療法実践の場で活用できる手話を習得する。		●		●	
実務リーダーのための経営戦略論	RP3-P101L1	●	展開科目	2	必修	講義	①戦略と戦術の違いを具体的に説明できる ②ビジネスフレームワークを使って現状分析ができる ③マネジメントとリーダーシップの関係を説明できる ④自身の将来を構想し、その内容を発表できる			●	●	●
組織・人材マネジメントの理論と実践	RP3-P102L1	●	展開科目	2	必修	講義	①将来自分が勤めたい会社について、組織と人材の面から分析出来る状態。 ②組織を一から創る時の考え方やしくみ、方法論が理解できる状態。 ③人が主体的に活動するためのしくみが理解でき、実際に実践するポイントが理解できる状態。			●	●	●
実践マーケティング戦略	RP3-P203L1		展開科目	2	必修	講義	・企業や組織の活動におけるマーケティングの意味や役割を理解する ・顧客への提供価値、消費者の消費購買の意思決定プロセスを理解する ・マーケティングミックスと主要なフレームワークについて説明できる ・マーケティング調査の手法について理解する			●	●	●
保健医療経営Ⅰ	RP3-P204L1		展開科目	2	必修	講義	①介護報酬(社会報酬)、診療報酬、地域福祉計画(社会福祉増進計画)、医療計画等の制度が理解できる。 ②介護経営、病院経営、社会福祉法人経営、在宅医療・介護サービス経営について知見を得る。 ③現状と将来課題を理解し、保健医療のあり方について一定の見解を持てるようになる。 ④現場において具体的なソリューションを考え、仲間と実践できるスキルを持つ。			●	●	●

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
保健医療経営Ⅱ	RP3-P305L2		展開科目	1	選択	講義	①病院、介護、社会福祉法人、在宅サービスの経営の具体的事例を学び、経営課題と改善の方向性を考える ②ヒト、モノ、カネ、情報の視点から、医療福祉の現状を鑑み、課題の抽出と改善の方向性を考える ③職業人として、経営にどのように貢献するかを考える			●	●	●
総合事業開発	RP3-P406P2		展開科目	1	選択	実験・実習	①自身でビジネスプラン(事業計画)を一通り立てられる。 ②企業での事業の成り立ちや進め方を理解できる。 ③チームメンバーとして、事業を計画する上での役割分担について理解する。 ④資料作成に必要な手法を身につける。					
理学療法研究基礎ゼミナールⅠ	RP4-Z301S1		総合科目	1	必修	演習	1. 自らの研究課題を探り出す。 2. 経済・地域社会・環境について調べる能力を身につける。 3. 教員・地域住民とのコミュニケーションを身につける 4. 自ら行動し研究に必要となる情報収集能力を身につける。	●	●	●	●	●
理学療法研究基礎ゼミナールⅡ	RP4-Z302S1		総合科目	1	必修	演習	1. 自らの研究課題を探り出す。 2. 経済・地域社会・環境について調べる能力を身につける。 3. 教員・地域住民とのコミュニケーションを身につける 4. 自ら行動し研究に必要となる情報収集能力を身につける。 5. 研究に必要となる、研究計画書に必要となる書類の作成と倫理審査を受ける。	●	●	●	●	●
理学療法研究卒業ゼミナールⅠ	RP4-Z403S1		総合科目	1	必修	演習	1. 研究テーマに沿って実験・アンケート研究を実施する。 2. 実験装置、研究用アンケートの作成作業。 3. 実験に必要な文研・論文の検索方法の習得。 4. 研究データをまとめる。 5. 理学療法研究卒業ゼミナールⅡにつなげる。	●	●	●	●	●
理学療法研究卒業ゼミナールⅡ	RP4-Z404S1		総合科目	1	必修	演習	1. 実験、調査で得られたデータを客観的に整理・分析・解析、研究結果をまとめる。 2. 論理的な考察・思考のもと論文の執筆を実施する。 3. 卒業論文の作成・レジメ作成・研究発表会の準備をする。 4. 担当教員と共に卒業論文を仕上げる。	●	●	●	●	●